

2010年度日本フードシステム学会秋季大会

テーマ:

「食の信頼の復興ーフード・コミュニケーション・プロジェクト(FCP)の意義と展望ー」

近年の食品事故・事件の多発によって、食の信頼は著しく傷ついた。食品事業者の安全性向上の取り組みを促し、それを消費者に実感してもらうためには、規制措置だけではなく、経済的なインセンティブを与える政策も求められている。そのために農林水産省消費・安全局は2008年度からフード・コミュニケーション・プロジェクトを進めている。同プロジェクトでは、官民合同で作成した「協働の着眼点」と呼ばれるグッドプラクティスをベースに、消費者ダイアログ、工場監査シート、商談会シート、企業格付け、マネジメント規格、地域振興プログラムなどを開発した。本シンポジウムでは、同プロジェクトの意義を整理し、実践活動報告を基に今後の展望を行う。

日 時: 2010年11月23日(火・祝)13~18時

場 所: 千葉大学松戸キャンパス(千葉県松戸市)E棟2階 合同講義室

参加費: 会員: 無 料 一般非会員: 2,000円 学生: 無 料

FCPネットワーク参加者 : 1,000円

(※事前申し込みは不要です。当日会場へ直接お越し下さい。)

スケジュール:(敬称略)

13:00~13:10	会長挨拶	斎藤修(千葉大学大学院園芸学研究科教授)
13:10~13:40	基調講演	「FCPへの食品産業の期待」(西藤久三:食品産業センター理事長)
13:40~14:10	座長報告	「食の信頼回復の経済学」(中嶋康博:東京大学農学生命科学研究科准教授)
14:10~14:40	実践報告1	「FCPの枠組みと狙い」 (神井弘之:農林水産省フード・コミュニケーション・プロジェクト・リーダー)

[休憩]

14:50~15:10	実践報告2	「食の安全の取り組みについて~メーカーの立場から」 (川越康史:テーブルマーク(株)品質管理部長)
15:10~15:30	実践報告3	「FCPを活用した食の安全・安心への取組について~食品卸売業の立場から」 (西山哲郎:三菱商事(株)生活産業グループ安全管理・貿易管理・環境ユニット)
15:30~15:50	実践報告4	「(株)ローソンにおける「食の安全・安心」の取組について」 (三森伸二郎:(株)ローソン品質管理ステーション品質管理マネージャー)
15:50~16:10	実践報告5	「FCPの視点導入による岩手県の食産業振興について」 (竹花光弘:岩手県農林水産部流通課主査)

[休憩]

16:20~18:00	パネルディ スカッション	コメント (阿南久:全国消費者団体連絡会事務局長) 全体討論(実践報告1~5報告者+コメンテーター+座長)
-------------	-----------------	--

○秋季大会に関するお問い合わせ

独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構

中央農業総合研究センター マーケティング研究チーム(佐藤和憲) 電話:029-838-8422